

## Menlo Securityの仮想ブラウザが 1000万円以上のコスト削減に貢献

一般社団法人衛生文化協会 城西病院は地域の健康を支えることを目的に1949年に開設、糖尿病専門外来も備えた内科を中心に、整形外科や眼科など3診療科を展開している。地域包括ケア病棟と医療療養病棟を合わせて99床のケアミックス病院と健診部門を担う予防医学本部、在宅療養を支える訪問診療、訪問リハビリテーション、デイサービス、在宅サポートセンターを併設。近隣医療機関や高齢者施設、その他の介護事業者と連携しながら、地域の方に向けた手厚い医療・介護サービスを提供し続けている。

城西病院ではセキュリティの観点から電子カルテを扱う診療系ネットワークなど複数のネットワークを物理的に分けて運用しており、IT機器の導入や運用に多くの手間とコストがかかっていた。そこで、Menlo Securityが提供する仮想ブラウザとしてのMenlo Secure Enterprise Browserやファイル無害化ソリューションのMenlo File Securityを導入し、ネットワークの統合によってコスト削減を実現している。その経緯について、デジタル推進課の山田 誉志氏に話を伺った。

### 数千万規模のオンプレミス基盤が必要な仮想ブラウザ、 クラウドサービスなら導入検討可能な状況に

情報漏洩を含めたセキュリティ対策が求められる多くの病院同様、同院でも用途に応じてネットワークを物理的に分離した形で情報環境を整備している。具体的には、電子カルテをはじめとした診療情報を扱う診療系ネットワークとともに、健康診断業務を行う健診系ネットワーク、そしてインターネットへの通信可能な情報系ネットワークの3系統を運用しており、それぞれの用途に応じてPCが個別に接続されていた。

「物理的に分離させたネットワークには、それぞれPCやプリンタを個別に導入し、用途に応じて使い分ける必要があります。部署長などは一人でPCを複数台使って業務を行わざるを得ませんでした。当然、使い勝手がいいとはいえませんし、コストも大きなものになっていました」と当時の状況を振り返る。

強固なセキュリティを維持したまま業務環境の改善につなげるためには、仮想ブラウザの仕組みを用いることが解決策の一つであると認識はしていた。ただ、大学病院等で用いられるようなオンプレミス型の仮想ブラウザでは数千万規模のコストがかかるため、中小規模の病院で展開するには費用対効果が得られないと考えていた。

そんな折、仮想ブラウザのソリューションにもオンプレミス型に比べ安価なクラウド環境で提供するサービスが存在することを知り「ようやく手が出せる金額の仮想ブラウザソリューションが出てきたことで、我々でも検討できる状況になりました」と語る。

### コストパフォーマンスに優れ、 生成AI活用に向けたDLP機能を持つ Menlo Securityを選択

そこで、コストパフォーマンスを最優先に検討するなかで、仮想ブラウザソリューションの一つであるMenlo Securityに注目。画面情報そのものを転送する画面転送方式の仮想ブラウザでは、画面の描画レスポンスなどの性能面で懸念があったが、Menlo Securityはクラウド上の仮想コンテナでWeb処理を実行して安全なレンダリング情報のみをクライアントに送る仮想ブラウザであり、通常のPCを操作するような快適なレスポンスが得られると評価。

健診システムや電子カルテを使用するPCからMenlo Securityが提供する仮想ブラウザにアクセスし



社名：一般社団法人衛生文化協会 城西病院  
業界：医療  
所在地：東京都杉並区上荻2丁目42番11号  
URL：<https://www.johsai-hp.or.jp/>

1949年に地域の医療を支えるべく開設、糖尿病専門外来をはじめとした内科や整形外科、眼科の3診療科を展開。地域包括ケア病棟と医療療養病棟を合わせて99床のケアミックス病院と健診部門を担う予防医学本部、在宅療養を支える訪問診療、訪問リハビリテーション、デイサービス、在宅サポートセンターを併設。地域の医療機関と連携しながら手厚い医療・介護サービスを提供。

#### ソリューション

- ・ Webアイソレーション
- ・ ファイル無害化

#### 課題

- ・ ネットワークの物理分離によるコストと手間の増大
- ・ 複数台でのPC運用で業務効率が低下し、使い勝手が低下
- ・ シンクラまたは仮想ブラウザのためのオンプレミス基盤の整備には数千万円の投資が必要

#### 効果

- ・ PCやプリンタなどの調達コストの劇的な削減を実現
- ・ ネットワーク統合による管理負担を軽減
- ・ 高い安全性を維持しながら利便性の向上に貢献

てPOCを進め、インターネットへ接続する情報系のPCがなくとも業務が遂行できることを確認。結果として、高度なセキュリティを維持したまま、インターネットアクセスが得られる仮想ブラウザソリューションとして、Menlo Securityを選択。

そして、院内の情報共有基盤としてこれまでオンプレミス型のグループウェアを使用していたが、全てのPCからアクセスできるわけではなかったため、仮想ブラウザ経由で新たなクラウドサービスへアクセスできるかどうか事前検証したところ、問題なく利用できることを確認し、多くの職員が利用できるようにクラウドサービスのグループウェアを採用。

また、グループウェアが持つWebメール機能を使用すると、メールに添付されたファイルをダウンロードすることでマルウェア感染などのセキュリティリスクの懸念が出てくるが、ファイル無害化のソリューションであるMenlo File Securityがあれば、安全な運用が可能になると判断した。

生成AIの活用について院内でも議論が進んでいたことで、将来的には安全な形で生成AI活用を行う環境づくりを視野に入れていた。一方で生成AIに限らず、個人情報漏洩を未然に防ぐための対策強化も必要と認識しており、院内で扱う情報が外部に流出しないようにするためDLPのシステムも導入するつもりだったが、Menlo SecurityがDLPの機能も有していたため、DLPを導入するコストがMenlo Securityによって丸々浮いた形となった。

## 仮想ブラウザの導入で 1000万円以上のコスト削減を実現

当初から掲げていたコスト削減については、インターネットへアクセスするためのPCの設置台数が約50%、トータルで60台ほどが不要となった。また、仮想ブラウザの導入に合わせてネットワークを物理統合し、PCだけでなくプリンタの台数も削減。それぞれの用途に応じてVLANのネットワークセグメントを用意している。

「費用面ではかなりの効果で、不要となった端末台数とセキュリティ対策のシステムライセンス数を合算すると1000万円以上のコスト削減につながっています。このコスト削減効果だけで仮想ブラウザの費用はほぼ回収できています」と語る。

また、各人が勝手にクラウドサービスを利用するなどのガバナンス対策として、Menlo Securityに備わったCASB機能を利用しSaaSの利用状況を可視化できている。

「グループウェアをはじめとしたクラウドサービスが利用でき、誰でもアクセスできるようになったことで決裁書類の電子化も実現できました。いろいろな効果が仮想ブラウザによって得られています」と高く評価している。

仮想ブラウザを導入したことで、それらを利用する職員にとっても日常的に必要な情報ソースへ接続できるようになったと好評だ。例えば各種論文の検索と閲覧や、南江堂が提供する「今日の治療薬WEB版」などだ。医療従事者の情報ソースとして有益なインターネットコンテンツは、以前は電子カルテを使用する端末からアクセスできなかったが、インターネットへ安全なアクセスが可能な仮想ブラウザ経由でシンプルにアクセスできるようになっている。



仮想ブラウザがあるおかげで、コストを大きく削減することができました。クラウドサービス利活用の促進にも大きく貢献しています”

一般社団法人衛生文化協会 城西病院  
デジタル推進課  
山田 誓志 氏

「風が吹けば桶屋が儲かる」ではありませんが、仮想ブラウザがあるから、かつては建物や用途ごとにインターネット回線を契約していましたが、回線の集約によって通信費も40%ほどのコスト削減に成功しています。仮想ブラウザによって物理分離する必要がなくなったことで、契約していた回線をうまく集約して整理していくことができました。当然インフラの集約によってシステム担当としての管理負担も大きく減らすことができました」と語る。

また、Menlo File Securityのおかげで、本来であればEメールを利用する際に必要な「怪しいメールに記載されたリンクは踏まない、添付ファイルは開かない」といった職員への啓蒙活動を行う必要がなく、ファイルの無害化によって各人が意識せずともマルウェアの侵入を防ぐことができようになり、システム担当者の管理工数削減にMenlo File Securityが大いに貢献することとなった。

## 生成AI活用を加速させるDLP機能を持つ Menlo Securityに期待

今後については、Geminiなどの生成AIを用いた議事録の半自動作成はもちろん、患者と医師が口頭でやり取りした内容や入院調整のために転院先の病院と電話越しにやり取りした内容をテキスト化して電子カルテに反映するなど、業務の効率化に利用していきたいという。「情報漏洩を防ぐためにも、有償の生成AIを活用しつつ、個人情報漏洩などの対策としてMenlo Securityが持つDLP機能が生成AI活用の加速に役立つはず」と意欲は高い。

強固なセキュリティを維持しながら、生成AIなどの最新テクノロジーを業務に活かす取り組みに、Menlo Securityの役割が今後も重要になると今後について語っていただいた。